

令和4年度高齢者相談センター事業計画(案)

－ 重点取組事項 －

センター	重点取組事項
【第1圏域】 高齢者相談センター 愛泉苑	<ul style="list-style-type: none"> ●地域ケア個別会議を有効に活用し、ダブルケア、ヤングケアラー、8050問題等の課題を抱える個人や世帯を支援する。 ●加須地区及び大桑地区で、第3層の地域ブロンズ会議を1箇所以上立ち上げる。 ●チームオレンジの創設支援や認知症サポーター養成講座の開催等により、認知症の人とその家族を支える地域づくりを進める。 ●民生委員・児童委員の定例会議に積極的に参加し、民生委員・児童委員との連携の強化を図る。
【第2圏域】 高齢者相談センター みずほの里	<ul style="list-style-type: none"> ●民生委員・児童委員、自治協力団体、老人クラブ等との地域住民との関係づくりに継続して取り組む。 ●認知症サポーター養成講座や認知症カフェの運営を通して、認知症に関する普及啓発を積極的に行う。 ●生活支援コーディネーターと連携し、地域ブロンズ会議の活動を支援する。 ●個別ケア会議や研修会、圏域会議の開催等を通じて、地域の介護支援専門員や主任介護支援専門員のケアマネジメント力の向上を図る。
【第3圏域】 高齢者相談センター 利根いこいの里	<ul style="list-style-type: none"> ●地域ケア個別会議や事例検討会等を通じて、済生会加須病院や北埼玉在宅医療連携室等の医療関係者との連携強化を図る。 ●生活支援コーディネーターと連携し、地域ブロンズ会議における「絆サポート事業」の立ち上げなど社会資源の開発に取り組む。 ●広報紙の発行やふれあいサロンの場を活用して、フレイル予防の普及啓発を行う。 ●認知症サポーター養成講座を積極的に開催する。また、認知症カフェなどの通いの場の充実を図る。
【第4圏域】 高齢者相談センター 多賀谷寿光園	<ul style="list-style-type: none"> ●移動スーパー事業の導入等の地域ブロンズ会議における生活支援の取り組みを支援する。 ●ヤングケアラーや介護離職など世帯が抱える課題の解決に取り組む。 ●老人クラブ、自治協力団体、民生委員等と、災害時における高齢者の避難確保について情報交換を行う。 ●認知症専門医や北埼玉在宅医療連携室との連携を進める。 ●認知症サポーター養成講座を開催するとともに、チームオレンジの設置に取り組む。
【第5圏域】 高齢者相談センター 加須清輝苑	<ul style="list-style-type: none"> ●支援に結び付いていないケースを把握し、障がい者福祉、教育、自治協力団体、防災等関連機関等の協力を得ながらアウトリーチによる支援を行う。 ●ふれあいサロンへの参加を促し、高齢者のフレイル予防に関する啓発を行う。 ●地域ブロンズ会議の組織づくりへの支援や支援者を確保するための呼びかけを行う。また、防災意識の向上及び地域支え合いについての啓発を行う。 ●幅広い対象の人に認知症サポーター養成講座を開催するとともに、認知症の人を支援する土壌づくりを行う。 ●人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)の講話を行うなどして、その普及を図る。
【第6圏域】 高齢者相談センター ふれ愛の郷	<ul style="list-style-type: none"> ●メンタルヘルスの視点を加えた人材育成を行う。 ●高齢者相談センターの一層の周知に取り組む。 ●ブロンズ会議の取り組みや関係機関等との連携を推進し、個人や世帯の複合化・複雑化した課題に対応する支援体制を整備する。 ●社会福祉協議会から当センターへのふれあいサロン事務局の移行後も、住民が安心してふれあいサロン活動に取り組めるよう、地域との連携を図る。 ●チームオレンジの立ち上げ後も継続的に定例会及び勉強会を開催し、地域で認知症の人を見守り合う地域づくりを進める。